



# 補習校だより

平成28年度 第16号

平成28年8月27日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

## 聞くときも、読むときも、教科書をしっかり持って！

日本語の力ー国語力を育てていくためには、教科書の文章を「スラスラと読めるようになること」がとても大切です。そのために“音読”を宿題にし、家庭での練習を欠かさずやることを子ども達に課しています。授業でも音読指導を行います。その方法や形態はいろいろあります。

最初に行うのは教師の範読です。範読を聞くとときには子ども達も教科書を持って文章（文字）を目で追います。文章を注視しながら「聞く」ことで、語句の読み・アクセント・速さ・抑揚・間などを耳から覚えていきます。

このとき、黙読ではなく「唇読み…唇だけを動かして読む」をさせると効果があります。黙読では、難しい語を飛ばして読んだり、誤読に気づかなかったりしますが、ほとんど聞こえないくらいの声量で唇を動かすことでそれらが防げます。

さらに「共読み…教師と子ども達が共に（一緒に）読む」をするといっそう効果的です。

もちろん、音読するときに教科書を手で持つことが大切なのは言うまでもありません。正しい姿勢で読むことは、正しい発音・発声につながることはもちろん、声に表情を付けたり朗読につなげていくための基本です。

子ども達が家庭学習で音読に取り組むとき、保護者の方もこれらに配慮されながらお子さんに指導していただくようお願いします。

### 習字・書き方教室

今年の参加希望者は昨年よりも多く、教室を一つ増やして小学部4クラス、中学部1クラスで始めました。それに伴い講師の先生も一人増やしてお願いしました。特に小学部5・6年生は17名登録と最も多く、教室が狭く感じられます。

全国書画展覧会への参加（3年生以上）、冬の書き初め大会に向けて全員が熱心に取り組んでいます。どの子も一生懸命になるあまり、時間を過ぎて書き続けるほどです。



【全員で教科書を持ち、範読を聞くー小4】



【読む子も聞く子も教科書を持ってー中2】



【止め、はね、はらい！】